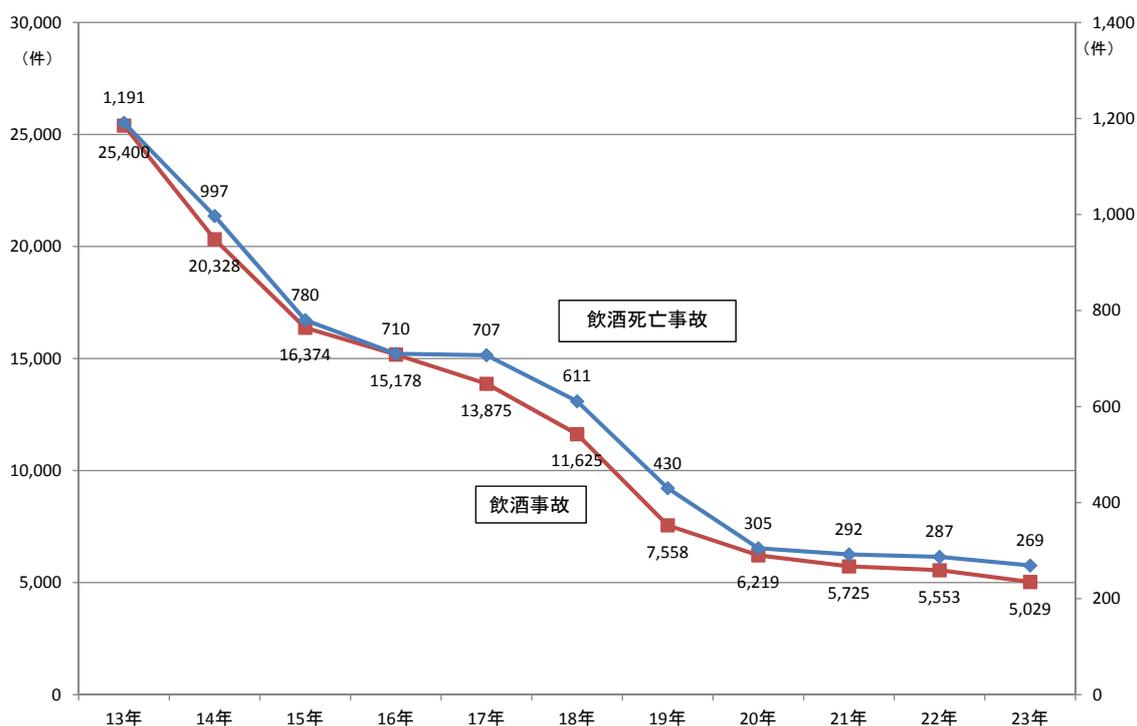


酒気帯び運転等違反者に対する新しい取消処分者講習

警察庁交通局運転免許課
成富則宏

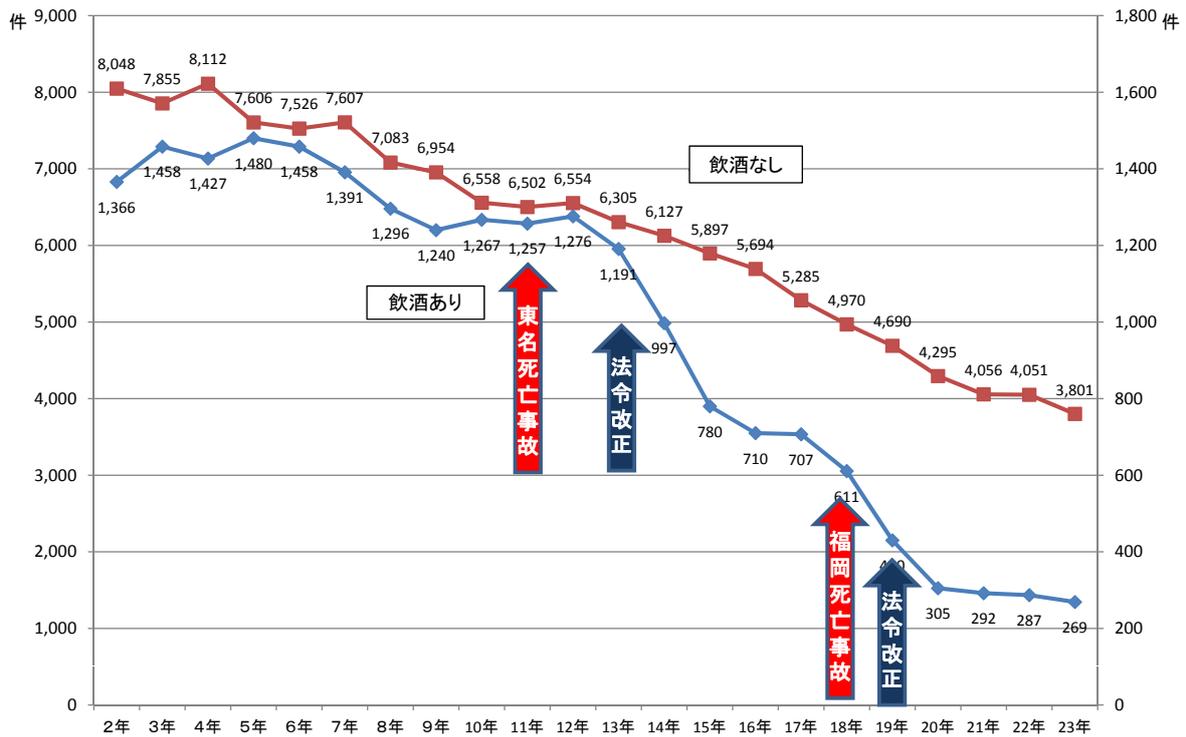
飲酒運転による交通事故の状況①

原付以上運転者(第一当事者)の飲酒運転による交通事故件数の推移



飲酒運転による交通事故の状況②

原付以上運転者(第一当事者)の飲酒の有無別死亡事故件数の推移



主な飲酒運転関係の法令改正

平成13年改正

- 危険運転致死傷罪の新設
- 飲酒運転の厳罰化(14年施行)

平成19年改正

- 飲酒運転の厳罰化
- 車両提供、酒類提供、同乗罪の新設
- 飲酒運転に対する行政処分の強化(21年施行)

飲酒運転による交通事故の状況③

- **飲酒死亡事故**: 10年間で**1/4**に減少
(死亡事故全体は1/2)
- **飲酒事故**: 10年間で**1/5**に減少
(事故全体は3/4)

飲酒運転根絶に向けた取組が大きな効果

- 飲酒事故の減少が鈍化
- 飲酒運転の死亡事故率: 飲酒なしの**9.2倍**
- 酒酔い運転の死亡事故率: 飲酒なしの**30.1倍**

飲酒運転を繰り返す者への対策等
さらなる取組が必要

政府の飲酒運転根絶対策

「飲酒運転の根絶について」(平成18年9月 交通対策本部決定)

- 飲酒運転の根絶に向けた取組の強化
- 指導取締りの徹底等
- 車両技術開発の検討
- **常習飲酒運転者対策のための連携強化**

アルコール依存症者等の飲酒運転抑止のための諸対策の効果的な実施を図るため、「常習飲酒運転者対策推進会議」を開催

「飲酒運転の根絶に向けた取組の強化について」(平成19年7月 交通対策本部決定)

- 飲酒運転厳罰化を踏まえた広報啓発
- 飲食店等に対する周知徹底
- **常習飲酒運転者対策の推進**

- アルコールの影響や専門相談機関等の周知
- 様々な機会をとらえた飲酒行動是正のための働きかけ
- **運転免許の処分者講習の充実等**
- **各種調査(警察庁における常習飲酒運転者に関する調査研究)の実施** など

運転免許の処分者講習

取消処分者講習

- 取消処分者に対する講習
- 免許再取得のため必須

停止処分者講習

- 停止処分者に対する講習
- 受講は任意
- 停止期間の短縮が可能

各都道府県で飲酒運転違反者に対する取組を推進

- ・ 飲酒ゴーグルやシミュレータを利用した講習
- ・ 飲酒運転事故の被害者遺族や医師等による講話
- ・ アルコールスクリーニングテストによる指導

常習飲酒運転者に講ずべき安全対策 に関する調査研究

平成20年度

飲酒運転再犯者に関する実態調査と処分者講習の改善方策

飲酒運転違反者等を対象とする実態調査

再犯率調査

質問紙調査

面接調査

医師等の診断

文献等調査

平成21年度

新しい取消処分者講習の試行実施と効果測定

新しい取消処分者講習のカリキュラム案の作成、試行実施、効果測定

カリキュラム案作成

試行実施

呼気検査・ディスカッション等を内容とする2か月に4回の講習を実施

効果測定

試行実施の受講者等に対するアンケート

改善の方向性

講習の改善の方向性について検討

取消処分者講習の見直し

試行実施の結果に基づく講習改善の方向性の提示

平成20年度調査研究の概要①

飲酒運転違反者の57.6%が再犯者

※飲酒運転違反者で、過去にも飲酒運転で取締を受けたと回答した者

再犯者の特徴

問題飲酒者が多い
(再犯者の40%が依存症の疑い)

規範意識が低い
(再犯理由に「飲酒運転は悪いことだと思っていない」と回答した者が57.3%)

講習の改善方策

アルコールスクリーニングテストやブリーフインターベンション(簡易介入)等による飲酒行動の改善

ディスカッション等による規範意識の改善

平成20年度調査研究の概要②

飲酒運転に対する行政処分の強化(平成21年6月)

	改正前	改正後
酒酔い	取消(欠格期間2年)	取消(欠格期間3年)
酒気帯び(0.25以上)	停止(90日)	取消(欠格期間2年)
酒気帯び(0.25未満)	停止(30日)	停止(90日)

※前歴・累積点数なしの場合

取消処分者講習の充実が重要

平成21年度調査研究の概要

取消処分者講習の試行実施と効果測定

試行実施(6週間に4回)

新たに取り入れた講習項目

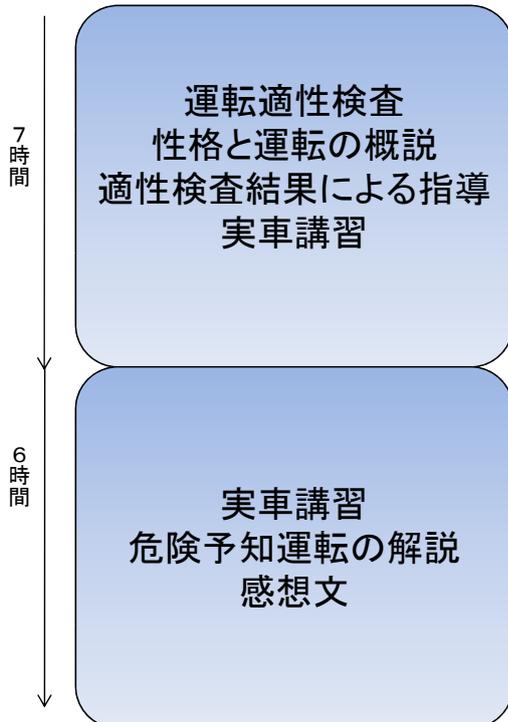
- 呼気検査
- アルコールスクリーニングテスト
- ブリーフインターベンション
- ディスカッション

試行実施の効果測定
(受講者・講師へのアンケート)

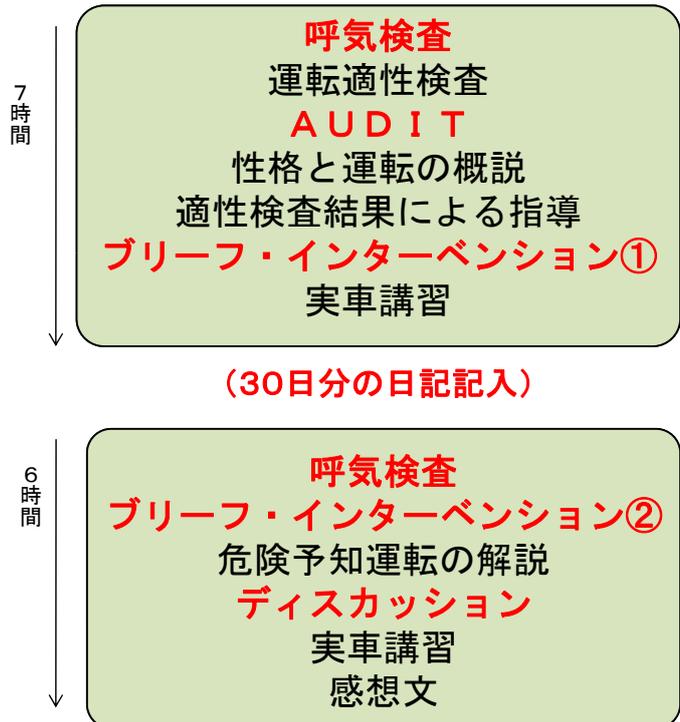
新しい取消処分者講習の在り方の検討

新しい取消処分者講習のモデル事業 (平成22年度)

【従来の講習】
2日連続13時間



【22年度モデル事業】
2日不連続13時間



呼気検査

受講の機会をとらえて、受講者に断酒する機会を付与するため、講習の冒頭に呼気検査を実施

※市販のアルコールチェッカーを使用

ディスカッション

過去に行った飲酒運転の経験を話すことを通じて、飲酒運転の危険性や悪質性等について問題意識を共有し、飲酒運転に対する規範意識の改善を図るために実施

アルコールスクリーニングテスト

アルコール使用障害に関するスクリーニングテストを実施し、その結果に基づき指導を行うことで、受講者にアルコール依存の程度を自覚させ、飲酒行動の是正を図るために実施

◇AUDIT*を使用

* Alcohol Use Disorders Identification Test

◇判定は

0～7点 危険の少ない飲酒

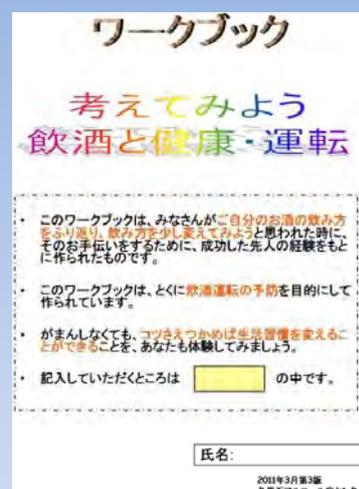
8～14点 危険の高い飲酒

15点以上 アルコール依存症の疑い

ブリーフインターベンション

自分の普段の飲酒行動を自覚させ、飲酒運転に陥りやすい状況やその他対処方法等を受講者自身に考えさせる機会を付与することで、飲酒運転に対する規範意識の向上を図るとともに、問題飲酒行動の改善状況を経過観察し、飲酒行動の改善のための指導を行うことを目的に実施

- 第1回目 70分
(モデル事業後90分に変更)
- 30日間の飲酒状況の記録
- 第2回目 60分



※ワークブック『考えてみよう 飲酒と健康・運転』を使用

ワークブックの内容

- ステップ1 自分の飲酒量を確かめよう
- ステップ2 自分の飲酒問題について考えよう
- ステップ3 アルコールの分解について知ろう
- ステップ4 飲酒運転について考えてみよう
- ステップ5 危険な状況のリストアップ
- ステップ6 飲酒と運転の具体的目標を立てよう
- ステップ7 私の健康・生活日記

ステップ1 自分の飲酒量を確かめよう

ステップ-1

自分の飲酒量を確かめよう

いつもの1杯(本)は何ドリンク?

日本酒 (15%)	ウイスキー (40%)	ビール (5%)	缶チューハイ (7%)	発酵泡盛 (25%)	ワイン (12%)
1合	ダブル杯	中びん1本 (500ml)	1缶 (350ml)	1合	グラス1杯
2.2 ドリンク	2 ドリンク	2 ドリンク	2 ドリンク	3.6 ドリンク	1.2 ドリンク

お酒の種類	お酒の量	ドリンク数
ビール・発泡酒	コップ 1杯	0.7
	中ジョッキ 1杯	1.3
	350ml 1缶	1.4
	500ml 1缶	2.0
	大びん633ml 1本	2.5
焼酎お酒割り (コップで)	薄日(焼酎3、お湯7) 1杯	1.1
	中ぐらい(焼酎5、お湯5) 1杯	1.8
	濃日(焼酎8、お湯2) 1杯	2.9
ウイスキー (グラスで)	ロック 1杯	2.0
	シングル 1杯	1.0
カクテル	コップ 1杯	0.7
焼酎・泡盛	35度 1合	5.0
	30度 1合	4.3
	20度 1合	2.9
梅酒	グラス 1杯	0.3

参考: いろいろなお酒のドリンク数

アルコール飲料のドリンク数の求め方

公式!

アルコール飲料に含まれるアルコールの量 (グラム)
 = アルコール飲料の量 × アルコール濃度 × アルコール比重
 (ml) (度数/100) (0.8g/ml)

それでは、例題です。

問. ビール中ビン(またはロング缶) (500ml) 1本は何ドリンク?

答. 量(ml) アルコール濃度 アルコール比重
 500 × 0.05 × 0.8 = 20グラム

ここで、
 「純アルコール10グラムを含むアルコール飲料」=「1ドリンク」です。
 したがって、
 ビール中ビン1本はアルコール20グラムを含むため、2ドリンクになります。

あなたがふだん飲んでいるお酒の量を計算してみよう

量(ml)	アルコール濃度	比重	グラム	ドリンク
お酒1	×	×	=	
お酒2	×	×	=	
お酒3	×	×	=	
				合計

ポイント: 何種類かのお酒を飲んだ場合は、お酒の種類ごとにドリンク数を計算し、それらを合計します。

ステップ2 自分の飲酒問題について考えよう

ステップ-2

自分の飲酒問題について考えよう

その1. アルコールの身体への影響について

アルコールは全身の様々な部分に悪影響を及ぼします。あなたは、図のような病気をもっていますか。あてはまるものがあればチェックしてみてください。

- うつ病
- 睡眠障害
- 物忘れ
- 高血圧
- 貧血
- 胃炎・胃潰瘍
- 不整脈
- 肝障害
- 肺炎
- 糖尿病
- 下痢・腸炎
- がん(口腔・咽頭・食道・胃・大腸など)
- 末梢神経障害(手足のしびれ)
- 性功能障害

その2. 飲酒問題のスクリーニングテスト(AUDIT)

AUDIT(オーデイト)は、WHO(世界保健機関)が開発した、飲酒問題の程度を調べるテストです。

わたしのオーデイトの点数は 点です。

下の図1で自分の位置を確認してみましょう。

図1. オーデイトの点数と飲酒問題との関係

低	オーデイトの点数			高
0点	8点	15点	40点	
危険の少ない飲酒	危険の高い飲酒	アルコール依存症の疑い		
問題が少ない	飲酒問題の程度		問題が多い	

ステップ2 自分の飲酒問題について考えよう

オーディット(AUDIT)点数が示す 飲酒の影響と望ましい対処

□ 0~7点の方は...

- ・今のところ、危険の少ないお酒の飲み方です。
- ・今後も健康的なお酒との付き合いを心がけてください。

□ 8~14点の方は...

- ・あなたの健康や社会生活に影響が出るおそれがあります。
- ・これまでのお酒の飲み方を修正された方が良いでしょう。
- ・1日2ドリンクまでの飲酒にとどめましょう。

□ 15点以上の方は...

- ・アルコール依存症がうたがわれます。
- ・次のページの解説をよく読んでください。
- ・今後の目標は“断酒”にしましょう。

5

アルコール依存症について: その1

- ★繰り返したくさん飲酒した結果、発症する病気で
- ★誰でもアルコール依存症になる可能性があります
- ★ただ単に個人の性格や意志の問題ではありません

診断ガイドライン

以下の各項目を経験したことがありますか。あれば☑をつけてください。

- 以前と比べて酔うために必要な酒量が増える。
- アルコールが体から切れてくると、手指のふるえや発汗、いらいら感などの離脱症状(禁断症状)が出現する。
- 飲みはじめると、はじめの予定より、たくさんまたは長い期間にわたって飲んでしまう。
- 禁酒や節酒がうまくできない。
- 飲酒に関連したこと(アルコールを手に入れる、飲酒する、飲酒の影響から回復する、など)に多くの時間を費やす。
- 飲酒のために家庭や仕事、趣味などをぎせいにする。
- 飲酒による問題が悪化しているにもかかわらず酒をやめない。

(注: 米国精神医学会「精神疾患の分類と診断の手引」第4版改訂版(DSM-IV-TR)を参考に作成)

対処法

- 断酒しかありません。
- ほどほどに飲もうとしても、だんだん酒量が増えていきます。

6

ステップ3 アルコールの分解について知ろう

ステップ4 飲酒運転について考えてみよう

ステップ-3

アルコールの分解について知ろう

まず基礎知識から

- アルコールの分解には、性・年齢・体質・体格などの個人差、食事・睡眠などの影響、血中濃度がゼロに近づく分解が遅くなること、など複雑な要因が影響している。
- これらを考慮して、分解速度は1ドリンク(10g)を飲酒した場合、2時間30分程度かかると考えよう。つまり、1時間あたりでは平均0.4ドリンク(4g)程度であり、これは、だいたいビール100mlまたは日本酒5分の1合にあたる。
- 多量の汗や尿でも体外に出るアルコールは、わずかである。体内のアルコールを無くすには、分解を待たねばならない。

計算してみよう

ステップ1の答えを書きましょう

問1. わたしがふだん飲んでいるお酒の量は、 ドリンクです。

問2. あなたがふだん飲んでいるお酒の量だと、運転できるまでに待たなければならない時間は?

時間

8

ステップ-4

飲酒運転について考えてみよう

飲酒運転をする理由は様々だと思います。どのような理由で、多くの人は飲酒運転をしていると思いますか。思いつくものを下の欄に書き出してみよう。

- ・(例) 飲酒運転をしても事故を起こさないと思っている。
- ・
- ・
- ・
- ・

飲酒時は、飲酒していない時に比べて、危険な運転をしやすくなるといわれています。もし、あなたが飲酒運転をした場合、どのような運転をするでしょうか。

- ・(例) 運転操作があぶなくなる。
- ・
- ・
- ・
- ・

9

ステップ5 危険な状況のリストアップ

ステップ-5 危険な状況のリストアップ

- ・お酒をたくさん飲みたいという欲求の現れ方は、時間帯や場所、その時の気分、一緒にいる人などの周囲の状況で変わってきます。
- ・以前あなたがお酒を飲みすぎた時のことを思い浮かべて下さい。
- ・あなたがついお酒を多く飲んでしまう状況のパターンを見つけてみましょう。

危険な状況リスト

リストの中から、あなたがつい量を多く飲んでしまう状況を4つ選んでチェックしましょう。他にあれば自由に書いてください。

<input type="checkbox"/> 葬式、法事、結婚式などの行事	<input type="checkbox"/> ゆうつな気分の時
<input type="checkbox"/> 仲間や仕事場の同僚との宴会	<input type="checkbox"/> イライラしている時
<input type="checkbox"/> 居酒屋、スナック、カラオケに 行った時	<input type="checkbox"/> 家族と言い争いをした時
<input type="checkbox"/> 近所の人との会合、寄り合い	<input type="checkbox"/> 友人や上司に批判をされた時
<input type="checkbox"/> 余暇を楽しみ、リラックスしたい時	<input type="checkbox"/> 何か失敗して後悔している時
<input type="checkbox"/> コンビニや自販機の前を通りかかった時	<input type="checkbox"/> 怒りの感情がわいた時
<input type="checkbox"/> 仕事帰り	<input type="checkbox"/> 何か一つの事を成し遂げた時
<input type="checkbox"/> 休日の前夜、週末	<input type="checkbox"/> 眠れない時、眠りたい時
<input type="checkbox"/> 寒い時、暑い時	<input type="checkbox"/> お金や給料をもらった時
<input type="checkbox"/> うれしい時、気分が高揚している時	<input type="checkbox"/> 体が疲れた時、体調が悪い時
<input type="checkbox"/> 心配事がある時	<input type="checkbox"/> 頭痛や体に痛みがある時
<input type="checkbox"/> 一人である時	<input type="checkbox"/> お腹が空いている時
<input type="checkbox"/> ひまな時、退屈な時	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> さびしい時	<input type="checkbox"/>

11

ステップ6 飲酒と運転の具体的な目標を立てよう

ステップ-6 飲酒と運転の具体的な目標を立てよう

目標を立てるためのアドバイス

- ①あなたが実現できそうな目標を！！
気を使って無理な目標設定をする必要はありません。
- ②なるべく具体的に！！
「一滴も飲まない」という目標や、「1日にカンビール1本までに量を減らす」という目標があります。また、「3日間で日本酒5合まで」というような期間を決めた目標設定もありますね。
- ③お酒だけでなく、運転についても目標を立てよう！！
例えば「飲んだら絶対に運転しない」などです。

重要！！

ステップ2で、アルコール依存症が疑われた場合は、飲酒の目標は、「今後はお酒を一滴も飲まない」、つまり、「断酒する」にしましょう。

13

ステップ7 私の健康・生活日記

ステップ-7 私の健康・生活日記

・ご自分の飲酒習慣を変えたいと思っている方は、毎日の飲酒について正直に記録してゆくことが手助けになります。

・ご自分が立てた目標を記録することで、少しずつ目標に向かっていくことが確認でき、励みにもなります。



すでに、あなたはワークブック(ステップ6)で、ご自分の「飲酒に関する目標」を立てました。それを思い出し、その目標を下の枠にもう一度書いて下さい。

私の飲酒に関する目標は……

飲酒・生活日記では、この目標が毎日どのくらい達成できたか、確認していきます。日記の付け方は、次のページのとおりです。

15

日記の付け方の例

飲酒目標: 1日2ドリンク(ビール中ビンまたはロング缶 1本)

1 選目	飲んだ種類と量	飲んだ状況	飲酒目標達成
○月○日(月)	ビール500mL瓶2本と、25度の焼酎2合	同僚の送別会があり、遅くまで飲んだ	×
○月△日(火)	全く飲まなかった	前夜に飲みすぎたので、体に悪いと思い、飲むのを止めた	◎
○月×日(水)	ビール(500mL)1缶	夕食前に野球を見ながら一人で飲んだ	○

記入の手順

- ① 手順1.
まず、「飲んだ種類と量」を記入して下さい。
できるだけ具体的に書いてください。
ご自分の目標と比較する場合に、ドリンク数を計算すると便利です。
ドリンクの換算表は「ワークブック」または「換算表」を見て下さい。
- ② 手順2.
飲酒した時は、「飲んだ状況」を記入します。
これは、お酒に近づく危険な状況や心理状態を知るためのヒントになります。
お酒を飲まないで済んだ日には、その日にあなたが使った対処方法を「飲んだ状況」に記入して下さい。
- ③ 手順3.
「飲酒目標達成」には、全く飲まなかった場合「◎」、飲んだが飲酒目標以下であった場合「○」、飲酒目標を超えてしまった場合「×」を記入して下さい。

16

モデル事業の実施結果

のべ75回 454名(男性423名、女性31名)が受講

神奈川県	18回	101名(男性96名、女性5名)
愛知県	14回	104名(男性92名、女性12名)
大阪府	31回	209名(男性199名、女性10名)
愛媛県	12回	40名(男性36名、女性4名)

AUDITの結果

0～7点(危険の少ない飲酒)	137名(約30%)
8～14点(危険の高い飲酒)	186名(約41%)
15～40点(アルコール依存症の疑い)	131名(約29%)

アンケート結果

受講中の飲酒量の変化

「減少」340名(75.6%)
「増加」1名(0.2%)
「変化なし」93名(20.7%)
「不明」7名(1.6%)
「断酒中」9名(2.0%)

新しい講習と

従来の講習の比較

「今回受けた講習の方が良い」158名
「今までの講習の方が良い」26名
「わからない」90名

モデル事業後の予定

モデル事業受講者の
再犯率等を調査

カリキュラムを一部変更、
一部府県で試行実施

埼玉、千葉、神奈川、新潟、
岐阜、愛知、大阪、愛媛、福岡

カリキュラムを確定

平成25年度全国実施予定

<参考資料>

<http://www.npa.go.jp/koutsuu/menkyo1/index.htm>

<http://www.npa.go.jp/koutsuu/menkyo3/moderujigyoujissikekkam.pdf>

<http://www.npa.go.jp/pdc/notification/koutuu/menkyo/menkyo20110531.pdf>